

Rotary International District 2630 2020-2021

ガバナー



Governor's Monthly Letter

Rotary



ロータリーは機会の扉を開く

国際ロータリー 第2630地区

2020-2021年度 ガバナー 剣田 廣喜

ガバナー事務所

〒506-0011 岐阜県高山市本町1-2 飛騨信用組合 本町サテライト出張所 3階

TEL 0577-33-2630 FAX 0577-36-1488 URL <https://www.rid2630.jp/> E-mail 2021@rid2630.jp



白山白川郷ホワイトロードふくべ谷上園地展望台から白山を望む

Contents

- 剣田ガバナーメッセージ
- ロータリー財団部門 平井義之 委員長メッセージ
- ロータリー財団部門 ポリオ・プラス小委員会 河地勝彦 委員長メッセージ
- コロナ禍でのクラブ運営
- 第2630地区 会員数報告
- 第2630地区 会員動静報告
- 東海北陸道グループGTM 報告

11

November 2020 Vol.5

第2630地区のHPは
スマートフォンでも
ご覧いただけます





2020-21年度
RI第2630地区ガバナー

劔田 廣喜 (高山中央RC)

日本のロータリーの伝統文化

今から約三十五億年前、地球上に生物が誕生し、その生命は今日まで絶えることなく連綿と続いてきました。そのわけは、細胞中の遺伝子を絶やすことなく伝えてきた事に寄ります。親の遺伝子を子に伝え、子が遺伝を受け継ぐ事以外に、命が伝わる事は絶対ありません。

これを人間の体で伝えているのが新陳代謝です。古い細胞がその遺伝子を新しい細胞に常に伝える事によって、我々は生かされているのです。この新陳代謝が終わったとき、人間の生命も終わるのです。

生命というのは固体の生命だけをさすものではありません。国としての生命、民族の生命、企業の生命、そしてロータリーという組織の生命も然りであります。ロータリーが持っている特有の歴史伝統文化を伝えなくなるとロータリーの生命も減んでいく事になります。

日本のロータリーの伝統文化とは何でしょうか。それは、例会と職業奉仕であります。なぜならば、ロータリーの本質は人づくりにあります。それを具現化する実践活動が例会出席であり、職業奉仕であると考えからです。この本来の目的を失えばロータリーは衰退していきます。

近年、ロータリーに関して、十分な知識を持たないロータリアンが増え、ロータリーとは何か？ 十分に理解されないまま、ロータリーを去って行く人(特に、入会3年未満の会員)が多いことは、非常に残念なことです。そこで、本当にロータリーを理解し、ロータリアンとして活動するためには、クラブの底辺から、一人一人のロータリアンが、自発的に、自覚を持った話し合いをし、本当のロータリーを理解することが、まず基本的な課題

だと考えています。

そこで例会においては、常に学びの精神を持ち、学び続けることで高潔性と高い倫理基準を持ったロータリアンに成長していきます。そして、ロータリークラブで学んだ数々のスキルを地域社会で、役に立つようリーダーシップを発揮することで、信頼される存在となることができます。奉仕は多くを学んだ人こそが実践できるものです。

1923-24年度RI会長ガイ・ガンディカー氏は、真のロータリアンを「常に電流の流れている電線」live wire (ライブ ワイヤ)にたとえています。電流が流れたり止まったりする電線は、それだけでは何の役にも立ちません。常に電流が流れる電線であるがゆえ、価値があるのです。毎週一回の例会に出席することにより、「live wire」となるのです。

「入りて学び、出でて奉仕せよ」例会に出席して奉仕の理念を学び、職業を通じて実践する。この原点に帰ることが、今、ロータリーにとって最も大事なことではないでしょうか。

ロータリーが他と違う特別な団体である理由は、その会員組織にあります。ロータリーは、高潔性と高い倫理基準を持った、事業と専門職および地域社会のリーダー約120万人が集まる国際的組織です。

「ロータリークラブの会員は『ロータリアン』と呼ばれ、ロータリーの理念の独自性と普遍性を大切にして例会や人道的奉仕を行いながら、会員同士の切磋琢磨によって自己研鑽して、奉仕のこころを育て向上させ、世界の親善と平和の確立に寄与しています。」

(ポール・ハリス語録 友情)より



ロータリー財団月間によせて

2020-21年度 RI第2630地区
ロータリー財団部門委員会委員長

平井 義之 (松阪RC)

11月はロータリー財団月間です。

日頃のご支援ご協力に厚くお礼申し上げますとともにロータリー財団活動の近況をご報告致します。

I. 「アフリカでポリオ根絶宣言、残るは南アジアの2国」

さる8月25日新型コロナウイルス流行の中、WHOより「アフリカ地域の野生型ポリオ根絶宣言」という久しぶりに明るいニュースが発表されました。

1979年ロータリークラブがフィリピンで600万人以上の子供達にポリオワクチンを投与して以来、また一歩大きくポリオフリーの世界に近づくことができました。

この快挙は数十年にわたり根絶活動を推進してきた世界中の無数のロータリアンとパートナー団体(WHO、UNICEF、CDC(米国疾病対策センター)、ビルアンドメリンダゲイツ財団 etc.)の大きな成果です。ポリオ根絶のために築かれたこのネットワーク(GPEI)は2014年のエボラ出血熱の封じ込めや、今回の新型コロナウイルス対策にも役立てられています。

残された課題はポリオの感染が途絶えたことのないアフガニスタンとパキスタンの根絶です。「世界からポリオを根絶する」という最終目標を達成するためにロータリアンの一層の御支援をお願い申し上げます。

【野生型ポリオ症例数】 ポリオ発症は野生型とは別にワクチン由来のものがあります。

		2020 9/22現在	2019	2018	2017
常在国	パキスタン	73	147	12	8
	アフガニスタン	47	29	21	14
世界合計		120	176	33	22



(財団室NEWS9月号より)

II. コロナ下のロータリー財団研修セミナー

例年2回(7月・10月)、クラブ会長・同会長エレクト・ロータリー財団委員長に一層のご理解とご支援をお願いする研修セミナーを開催していました。

残念ながら本年は新型コロナウイルス感染防止対応で両会とも中止となりお詫び申し上げます。

その代替策として、地区ロータリー財団部門委員会はリモート研修用パワーポイント(約1時間)と例会にも活用できるそのダイジェスト版(約20分)を企画しました。

委員全メンバーが悪戦苦闘しながらも鋭意製作中ですので、完成の際は是非ご覧いただきますようお願い申し上げます。



ポリオの現状と展望

2020-21年度 RI第2630地区
ポリオプラス小委員会委員長

河地 勝彦 (多治見RC)

日頃からポリオ根絶に向け、皆様のご協力感謝申し上げます。

アフリカ地域から野生型ポリオをなくすために、ロータリー会員は計り知れない役割を果たしてきました。懸命な活動により、アフリカだけでなく世界のほぼすべての国において野生型ポリオウイルスを根絶してきたことを、私たちは誇りとすべきです。

この度、世界保健機関(WHO)アフリカ地域の野生型ポリオウイルス根絶が認定されたことを、喜びとともにご報告された、ホルガー・クナーク国際ロータリー会長とツンジ・フンショ氏(ナイジェリアの国別ポリオプラス委員長)が、アフリカ地域でポリオ根絶に取り組むロータリアンへの祝辞の抜粋です。

この様にも言われています、この進展はアフリカ地域の全47カ国における数十年間の取り組みの成果です。これには、徒歩、ボート、自転車、バスによる数百万人もの保健ワーカーの移動、紛争地帯や政情不安地域の子どもにワクチンを投与するための画期的戦略、まひ症状の検査や下水でのウイルス検知のための膨大な監視ネットワークも含まれます。

過去20年間、アフリカ地域と世界中の無数のロータリー会員が、資金調達、子どもへのワクチン投与、自治体・政府リーダーへの

支援呼びかけ、予防接種の重要性に対する認識向上のために一体となって活動し、世界ポリオ根絶推進計画(GPEI)によるポリオ症例への効果的な対応と感染拡大抑止を支援してきました。

これは、ロータリー、アフリカ地域、GPEIのパートナー団体にとって、世界全体のポリオ根絶に向けた大きな一歩となるものです。

しかし、残る2つのポリオ常在国でポリオに打ち克つまでは、活動を継続していかなければなりません。

長年に渡り私たちはポリオ根絶に向け様々な活動をしてきました、しかし今は全世界に広がるコロナウイルス感染の影響で直接的な働きが出来ないのが現状です。

しかしポリオ根絶に向かう動きを止めることはできません。

出来ることを出来る範囲で一人一人が行っていく事が重要です。

今できることはポリオプラスに毎年5,000万ドルの資金を調達する為に一人一人が貢献していくことであると思います。

皆様の更なるご協力宜しくお願い致します。

コロナ禍でのクラブ運営について

会長
榊原 成人（上野RC）



コロナウイルス感染症という言葉が人々の耳に入り始め、挨拶代わりに言葉と
なって既に一年が過ぎようとしています。2月頃からコロナウイルス感染症が海外
で流行している事がニュースで流れ始め、国内でも確認されましたが、対処法は二
転三転して何が正しいのかが不明のまま、ただ不安と恐れが増幅し腫物を触るよう
な対応を余儀なくされました。人との親密な関係を築き懇親を深めることが忌避さ
れるのは、例会や事業を否定されるようでした。しかし、「トライ&エラーを繰り返さないと正
しい方向は見えてこないのではないか？」として短縮ではありますが7月より例会を開催し8月
のガバナー公式訪問例会も少人数で開催すべく会場を2つに分けるなど試行錯誤しましたが、結
局中止を余儀なくされ関係者の皆様へ大変ご迷惑をかけて申し訳ございませんでした。

10月からは短縮例会の開催を予定していますが先の灯りは見えない状況です。

例会が休会の間は例会日に、「上野ロータリーニュース」として会長の時間代わりに思いや様々
な情報を会員に連絡しています。例会再開後は、当面会員卓話を中心に進めますが、1月の創立
記念例会が親睦の在り方・方向性を確認する大きな機会と考えています。感染症対策が当たり前
で恐れすぎずに対応出来るか試行錯誤の日々です。

コロナ禍のクラブ運営について

会長
長野 和夫（中津川RC）



第63期となります中津川RCは、他クラブと同様に年度当初よりコロナ禍の中での
スタートとなってしまいました。活動計画はコロナ感染症の感染予測が困難な状
況でありましたが、感染症の終結を期待しての計画となったところです。

7月度例会はクラブ定時総会・役員・理事・各委員長就任挨拶、新会員入会式等
重要プログラムであり、ソーシャルディスタンス対策のため例会場を広い場所に
変更して開催しました。当然に消毒液・マスク等の対策を講じた上での開催となりました。

8月はガバナー公式訪問が中止となり、またお盆期間中でもあり地域の祭などのイベントは全
て中止となったことに伴い、例会は全て中止となりました。

9月の例会は、8月中までに中津川市内において感染者が7名発症したことにより、中津川セ
ンターRCとの合同例会を除き休会としました。この合同例会は例年夜間に開催していたところ、
昼間の時間に開催することに変更し、中津川クラブは食事はなしとして開催することと致しまし
た。

8月度の理事会において、感染症の拡大を抑える主な対策として、飲食を伴う例会・会議を控
えるという決議を得まして、例会場での食事は摂らない事と決議しました。

10月にホストクラブとして開催予定であったGTMについては中止と致しましたが、事業活動
報告書は作成することとし、東濃8クラブにテーマに関する原稿を依頼して進める計画です。
今後のクラブの運営につきましては、クラブ会員の健康を第一として、消毒液・マスクの着用を
原則とし、ソーシャルディスタンスを備えた上で極力通常の状態での例会開催に向けて取り組む
予定です。

国際ロータリー 第2630地区 出席報告

2020年9月分

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
桑名	桑名	0	38	0	38	0	0	0
	桑名西	3	33	0	35	0	2	0
	桑名中央	1	30	1	29	1	0	1
	桑名北	0	29	8	31	8	2	0
	グループ計(4)		130	9	133	9	4	1
四日市	四日市	4	90	1	92	2	5	3
	四日市北	3	21	5	21	5	0	0
	四日市西	4	68	4	74	4	6	0
	四日市南	0	39	4	39	4	0	0
	四日市東	2	37	0	37	0	0	0
	グループ計(5)		255	14	263	15	11	3
鈴鹿・亀山	鈴鹿	3	68	10	68	10	0	0
	鈴鹿西	1	36	7	36	7	1	1
	鈴鹿ベイ	1	13	0	13	0	0	0
	亀山	0	15	0	15	0	0	0
	鈴鹿シティ	2	64	3	66	3	2	0
	グループ計(5)		196	20	198	20	3	1
中勢・伊賀	津	0	64	0	65	0	1	0
	上野	0	37	2	37	2	0	0
	名張	3	35	1	35	1	0	0
	津南	0	46	2	45	2	0	1
	津北	0	48	3	51	4	3	0
	上野東	4	37	2	37	2	0	0
	久居	0	27	1	27	1	0	0
	名張中央	4	21	2	21	2	0	0
	グループ計(8)		315	13	318	14	4	1
	松阪・東紀州	松阪	0	74	0	74	0	1
松阪東		3	63	10	63	10	2	2
熊野		3	32	5	32	5	0	0
尾鷲		4	11	2	11	2	0	0
松阪山桜		1	35	3	37	3	2	0
グループ計(5)			215	20	217	20	5	3
伊勢・鳥羽・志摩	伊勢	0	56	0	56	0	0	0
	鳥羽	4	29	3	30	3	1	0
	伊勢南	4	44	4	46	4	2	0
	志摩	4	49	11	49	12	1	1
	伊勢中央	4	48	0	50	0	2	0
	伊勢度会	3	15	4	15	4	0	0
	グループ計(6)		241	22	246	23	6	1
三重県合計(33)		1,352	98	1,375	101	33	10	

■2019年9月(前年度)出席報告

	期首	月末	うち女性	増減
三重県合計(33)	1,405	1,429	103	24
岐阜県合計(42)	1,784	1,844	76	60
地区合計(75)	3,189	3,273	179	84

(注)グループ、県、地区の出席率は全てクラブ数で計算した。

グループ	クラブ	例会数	会員数					
			前期末	うち女性	月末	うち女性	増	減
岐阜A	岐阜	3	74	0	83	0	10	1
	岐阜西	3	53	0	51	0	0	2
	岐阜長良川	3	47	0	47	0	0	0
	岐阜北	4	37	2	38	2	1	0
	岐阜中	2	30	1	30	1	0	0
	グループ計(5)		241	3	249	3	11	3
岐阜B	岐阜南	3	97	12	93	11	0	4
	岐阜東	3	49	2	52	2	3	0
	岐阜東南	4	42	0	39	0	0	3
	岐阜加納	4	76	3	79	3	5	2
	岐阜エトス	2	22	2	22	2	0	0
	岐阜城	3	19	1	19	1	0	0
グループ計(6)		305	20	304	19	8	9	
岐阜西濃	大垣	3	86	2	88	3	3	1
	大垣西	3	73	0	73	0	0	0
	本巣	2	27	0	29	0	2	0
	羽島	4	30	4	30	4	0	0
	不破	2	27	0	27	0	0	0
	大垣中	0	51	0	54	1	3	0
	大垣センチュリー	1	57	3	57	3	0	0
	岐阜淡墨	3	16	1	16	1	0	0
	岐阜サンリバー	3	16	4	16	4	0	0
	グループ計(9)		383	14	390	16	8	1
岐阜東濃	多治見	0	48	4	50	4	2	0
	中津川	1	70	2	74	2	4	0
	瑞浪	3	56	1	57	1	2	1
	恵那	4	47	1	48	2	1	0
	土岐	1	40	1	40	1	0	0
	多治見西	3	30	4	30	4	1	1
	中津川センター	2	53	1	55	1	2	0
	多治見リバーサイド	4	39	1	40	1	1	0
グループ計(8)		383	15	394	16	13	2	
東海北陸道	美濃	2	16	0	16	0	0	0
	各務原	1	24	1	24	1	0	0
	関	3	48	2	50	2	2	0
	郡上八幡	3	36	0	38	0	2	0
	関中央	4	33	0	32	0	0	1
	郡上長良川	5	32	5	32	5	0	0
	各務原かかみの	3	4	0	4	0	0	0
グループ計(7)		193	8	196	8	4	1	
濃飛	高山	4	38	0	40	0	3	1
	下呂	3	26	0	26	0	0	0
	高山西	3	36	2	35	2	0	1
	美濃加茂	4	37	8	38	8	1	0
	可児	3	37	1	35	1	0	2
	高山中央	3	58	5	58	5	1	1
グループ計(6)		232	16	232	16	5	5	
岐阜県合計(41)		1,737	76	1,765	78	49	21	
地区合計(74)		3,089	174	3,140	179	82	31	

会員動静報告（敬称略）

2020年9月分

入会会員



<p>四日市RC</p> <p>荒木田 豊 2020.9.3入会 貯蓄銀行</p>	<p>松阪東RC</p> <p>澤田健治 2020.9.7入会 不動産コンサルタント</p>	<p>志摩RC</p> <p>向山靖子 2020.9.15入会 生花小売業</p>	<p>岐阜RC</p> <p>大石清貴 2020.9.4入会 電気設備工事</p>	<p>岐阜RC</p> <p>元廣桂三 2020.9.25入会 保険-損害</p>	<p>岐阜北RC</p> <p>渡辺俊介 2020.9.2入会 弁護士</p>	<p>本巣RC</p> <p>篠田和士 2020.9.1入会 産業廃棄物処理</p>
---	--	---	---	---	---	--



<p>本巣RC</p> <p>岩崎吉恭 2020.9.1入会 とび・土工事業</p>	<p>多治見リバーサイトRC</p> <p>石神 洋 2020.9.1入会 造園外構業</p>
--	---

逝去会員 謹んでご冥福をお祈り申し上げます



<p>瑞浪RC</p> <p>小栗榮輝 1984.3.2入会 2020.9.11逝去 1999～2000年度 会長 2013年 マルチプル・ポ ール・ハリス・フェロー 2016年 米山功労者</p>	<p>関中央RC</p> <p>広瀬恒行 1977.6.25入会 2020.9.10逝去 1990～2000年度 地区 国際青少年交換委員 2001～2002年度 ガバ ナー補佐 1988～1989年度 会長 米山功労者マルチプ ル、ベネファクター、 マルチプル・ポール・ ハリス・フェロー</p>	<p>可児RC</p> <p>堀井敏彦 1989.10.5入会 2020.9.24逝去 2011～2012年度 会長 米山功労者、ベネ ファクター、マルチ プル・ポール・ハリ ス・フェロー</p>
---	---	--

ガバナー月信表紙説明

白山白川郷ホワイトロード

白山白川郷ホワイトロードは、古都金沢や白山・加賀温泉郷（石川県）と世界遺産白川郷や飛騨高山（岐阜県）を結ぶ白山国立公園内のドライブコース。
限られた期間しか見ることの出来ない大自然がここに 있습니다。

ふくべ谷上園地展望台

樺の木台駐車場から徒歩 25分ほどの県境にある展望台。途中、白山山頂部や三方岩岳が遠望できます。平成 30年 10月に開通した三方岩岳に通じるルート沿いでは北アルプスの山々とともに季節の花々や新緑、紅葉を楽しむことができます。

G T M 報 告

日 時：2020年9月6日(日) ZOOM オンライン開催

第2630地区東海北陸道グループGTMが、令和2年9月6日午後1時30分から郡上長良川RC例会場において、郡上長良川RC主催で行われました。

今回のGTMは、新型コロナウイルス感染防止の関係でZOOMによるオンライン配信で行われました。

テーマは、地域との共生「持続可能な社会の構築について」で、特定非営利活動法人地域再生機構 副理事長の平野彰秀氏による講演です。

内容は、10年前に郡上市白鳥町石徹白という標高が800米位の豪雪地でもある町の中心から10キロ程離れた、住民が100世帯200名程の集落です。お年寄りが多く小学校も廃校になるかもしれない様な所へ一人の青年(平野氏)が移住してきました。

地域の人達と協力して小水力発電で地域の電源を確保し、余った電力を売電するという様な経済的な事を含めて数々の事業を起こしてこられました。

そして、志を同じくする若者達も多く移住してきました。

今では17世帯50名程増えて小学生も15名程になり、持続可能な社会を作ってこられました。

講演は40分程で、開会から閉会迄1時間20分位でありましたが、東海北陸道7RC、郡上長良川RC姉妹クラブ加賀中央RC、友好クラブ志摩RCのメンバー130名程に視聴して頂きました。

初めてのインターネット配信によるGTMでしたので、心配する事もありましたが、メンバーの協力で無事に開催出来ました事を嬉しく思っております。



東海北陸道グループ ガバナー補佐
藤代 昇 (郡上長良川RC)



2020-2021年度 地区事務所・ガバナー事務所・地区大会事務局 案内

地区事務所	〒500-8212 岐阜県岐阜市日野南3丁目5-16 TEL 058-248-9724 FAX 058-248-9725 E-mail branch@rid2630.org	執務時間 9:30-17:30 (土・日・祝日 休務)
ガバナー事務所 地区大会事務局	〒506-0011 岐阜県高山市本町1丁目2 飛騨信用組合本町サテライト出張所3F FAX 0577-36-1488(共通) (ガバナー事務所) TEL 0577-32-2630 E-mail 2021@rid2630.jp (地区大会事務局) TEL 0577-32-1116 E-mail 2021taikai@rid2630.jp	執務時間 10:00-16:00 (土・日・祝日 休務)